

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長 (氏名) 土谷 康彦
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3456-0561

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	1,852	9.1	125	16.9	103	20.9	70	76.5
24年2月期第1四半期	1,698	1.4	107	13.2	85	24.7	39	4.4

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 121百万円 (64.4%) 24年2月期第1四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	16.35	—
24年2月期第1四半期	9.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	7,718	1,635	21.2	379.13
24年2月期	6,938	1,578	22.8	366.02

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 1,635百万円 24年2月期 1,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,817	5.0	190	△23.5	152	△24.1	92	△66.3	21.46
通期	7,326	2.0	460	14.9	396	22.8	238	△24.3	55.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	4,318,444 株	24年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	5,672 株	24年2月期	5,573 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	4,312,838 株	24年2月期1Q	4,312,970 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要や底堅い個人消費需要などを背景に、緩やかな景気回復基調に転じておりますが、欧州債務問題に端を発した世界的な景気減速懸念や円高の長期化などの要因により、依然として、先行き不透明な環境が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期成長戦略の一つである「更なる成長に向けた事業構造改革プロジェクト(STEP-UP80)」の枠組みの中で、ファンデーション、ライナー・マスカラ、UV製品などの戦略的注力領域における新処方・新技術の開発や、製品開発力と技術力を活かしたグローバルな企画提案型営業を積極的に推進してまいりました。

このような施策が奏効し、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,852百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益125百万円(同16.9%増)、経常利益103百万円(同20.9%増)、四半期純利益は70百万円(同76.5%増)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

当社の化粧品事業は引き続き堅調に推移しており、主にファンデーション類、白粉・打粉、UV製品、スキンケア製品が前年同期を上回る受注を獲得しました。

収益面では、売上高は前年同期と比較して100百万円増加しましたが、「STEP-UP80」の施策として取り組んだ生産性向上のための設備投資により減価償却費や修繕費が増加したほか、品質管理向上に向けた投資費用の増加などにより前年同期と比較して減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,591百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は119百万円(同19.4%減)となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.(以下、テプニエ社という)の所在する欧州経済は、債務危機が深刻化するなかユーロ圏全体に景気減速感が強まりつつあり、個人消費が冷え込むなど、依然として、厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、主力の医薬品が持ち直したことに加え、グループあがてのグローバルなマーケティングが奏効しメイクアップ化粧品の新規受注が大幅に増加したため、利益をあげることができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は277百万円(前年同期比29.3%増)、営業利益は7百万円(前年同期は40百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、779百万円増加し、7,718百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が705百万円増加し、固定資産が74百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が554百万円、受取手形及び売掛金が46百万円、たな卸資産が149百万円増加し、その他が45百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建物及び構築物が43百万円、機械装置及び運搬具が26百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、723百万円増加し、6,083百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が284百万円増加し、固定負債が439百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金が60百万円、短期借入金が69百万円、賞与引当金が44百万円、その他が133百万円増加し、役員賞与引当金が24百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が534百万円増加し、社債が100百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、56百万円増加し、1,635百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が、当第1四半期連結会計期間の利益剰余金の増加70百万円に対して、前連結会計年度の支払配当金64百万円を差し引いたことで前連結会計年度末より5百万円増加し1,700百万円となりましたが、為替換算調整勘定が前連結会計年度末より53百万円増加したため、その他の包括利益累計額が50百万円増加して△65百万円になったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成24年4月17日に公表いたしました平成25年2月期の第2四半期(累計)の業績予想を上方修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成25年2月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（表示方法の変更）

前連結会計年度において連結貸借対照表の流動負債の「その他」に含めて表示しておりました従業員に対する賞与につきまして、実態に即したより適切な開示を行うため、当第1四半期連結会計期間より「賞与引当金」として区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の「その他」に表示しておりました42,884千円は、「賞与引当金」として組替えております。

（賞与引当金）

当社は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち、当四半期連結会計期間末における負担額を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月29日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,300	1,372,088
受取手形及び売掛金	1,677,126	1,723,369
たな卸資産	960,548	1,109,679
その他	253,976	208,552
貸倒引当金	△569	—
流動資産合計	3,708,382	4,413,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,197,045	1,240,740
機械装置及び運搬具（純額）	286,293	312,660
土地	1,187,580	1,188,441
その他（純額）	88,343	86,690
有形固定資産合計	2,759,263	2,828,532
無形固定資産	198,001	197,304
投資その他の資産		
投資有価証券	166,760	160,045
その他	157,623	175,050
貸倒引当金	△51,369	△56,006
投資その他の資産合計	273,013	279,090
固定資産合計	3,230,278	3,304,927
資産合計	6,938,660	7,718,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	967,380	1,028,001
短期借入金	1,282,610	1,352,482
1年内償還予定の社債	200,200	200,200
賞与引当金	42,884	87,035
役員賞与引当金	24,200	—
偶発損失引当金	2,014	2,196
その他	794,195	927,624
流動負債合計	3,313,485	3,597,540
固定負債		
社債	299,700	199,600
長期借入金	1,387,575	1,922,147
退職給付引当金	65,735	73,839
役員退職慰労引当金	172,910	172,910
その他	120,648	117,466
固定負債合計	2,046,568	2,485,963
負債合計	5,360,054	6,083,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月 29 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月 31 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	552, 749	552, 749
資本剰余金	781, 854	781, 854
利益剰余金	362, 230	368, 069
自己株式	△2, 114	△2, 150
株主資本合計	1, 694, 720	1, 700, 523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19, 316	14, 789
繰延ヘッジ損益	△8, 675	△7, 266
為替換算調整勘定	△126, 755	△72, 933
その他の包括利益累計額合計	△116, 114	△65, 410
純資産合計	1, 578, 606	1, 635, 113
負債純資産合計	6, 938, 660	7, 718, 617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)
売上高	1,698,497	1,852,837
売上原価	1,334,230	1,461,537
売上総利益	364,267	391,299
販売費及び一般管理費	256,638	265,490
営業利益	107,629	125,809
営業外収益		
受取利息	40	33
受取配当金	88	88
保険解約返戻金	1,901	—
その他	2,274	3,591
営業外収益合計	4,304	3,712
営業外費用		
支払利息	22,692	17,831
社債発行費	1,859	—
為替差損	—	6,746
その他	1,560	1,197
営業外費用合計	26,112	25,775
経常利益	85,821	103,746
特別損失		
固定資産除却損	75	83
特別損失合計	75	83
税金等調整前四半期純利益	85,745	103,662
法人税、住民税及び事業税	34,798	1,852
法人税等調整額	10,985	31,277
法人税等合計	45,783	33,130
少数株主損益調整前四半期純利益	39,962	70,532
四半期純利益	39,962	70,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,962	70,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,778	△4,527
繰延ヘッジ損益	△6,914	1,408
為替換算調整勘定	47,466	53,822
その他の包括利益合計	33,774	50,703
四半期包括利益	73,736	121,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,736	121,236
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自平成23年 3 月 1 日 至平成23年 5 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,483,716	214,781	1,698,497	—	1,698,497
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,855	—	6,855	△6,855	—
計	1,490,571	214,781	1,705,352	△6,855	1,698,497
セグメント利益又は損失 (△)	148,849	△40,826	108,022	△393	107,629

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△393千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自平成24年 3 月 1 日 至平成24年 5 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,575,061	277,776	1,852,837	—	1,852,837
セグメント間の内部売上高又は 振替高	16,099	—	16,099	△16,099	—
計	1,591,160	277,776	1,868,936	△16,099	1,852,837
セグメント利益	119,977	7,328	127,305	△1,496	125,809

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,496千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日）

（固定資産の取得）

当社は、平成24年6月13日開催の臨時取締役会において、下記のとおり固定資産の取得を決議し、同日、固定資産の取得に係る契約を締結いたしました。

1．取得の理由

現在、当社の製造拠点は、主力工場の座間工場（神奈川県）のほか、吹田工場（大阪府）及び大阪工場（大阪府）の3拠点体制となっておりますが、更なる生産能力の増強を目的として固定資産を取得することを決定いたしました。

2．取得資産の内容

① 所在地 茨城県つくば市和台25番地

② 資産の内容

土地：面積 34,902.20㎡

建物：延床面積 7,972.06㎡

③ 取得価額 340,000千円

3．取得の日程

平成24年6月13日 臨時取締役会決議

平成24年6月13日 売買契約締結

平成24年7月17日 物件引渡し（予定）